

授業科目	情報の理解と表現				実務家教員担当科目	-					
単位	1.	履修	選択	開講年次	2	開講時期	前期				
担当教員	若菜 啓孝										
授業概要	<p>情報を利活用するためには、「収集」「処理」「発信」といったプロセスと取り扱う能力が必要となります。</p> <p>この授業では、そのプロセスに必要な表現技術（レイアウト、デザイン、表・グラフ、フローチャート、図解、写真の利用、カラー化等）や「発信」についての基本的な知識とそのための作成技術を習得することにあります。</p> <p>演習では、与えられたテーマに対して『誰にどのように伝えるのか』を意識しながらコンテンツを作成していきます。また、そのコンテンツ作成にあたっては、AIを活用した方法について解説し、効果的・効率的に構成することとします。</p>										
授業形態	講義・演習		授業方法	ICT活用による講義・演習							
学生が達成すべき行動目標											
標準的レベル	<p>1. 与えられたテーマに関する情報を検索・収集できる（DP-1）</p> <p>2. 収集した情報を加工し、AI技術をも利用してわかりやすくデザインできる（DP-5）</p> <p>3. 自分の伝えたい内容に対して分かりやすいプレゼンテーション資料を作成することができる（DP-5）</p> <p>4. ネットワークを利用した情報発信ができる（DP-5）</p>										
理想的レベル	標準レベルを満たし、さらに外部公開が可能なものに仕上げることができる。										
評価方法・評価割合											
評価方法	評価割合（数値）			備考							
試験											
小テスト											
レポート	80%										
発表（口頭、プレゼンテーション）	20%										
レポート外の提出物											
その他											
カリキュラムマップ（該当DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	-	DP3	-	DP4	-	DP5	○	ナンバリング	NT10514J EN10514J T010514J
学習課題（予習・復習）										1回の学習目安（時間）	
復習：該当部分の復習										1	
授業計画											
第1回	<p>テーマ：授業計画の説明とフォルダの整理</p> <p>情報活用とメディア</p>										

第2回	テーマ：情報の取り扱い 著作権・肖像権、個人情報の取り扱い、AI 活用の注意
第3回	テーマ：表現技法 ビジュアル表現、図解表現（色と図形、グラフ）
第4回	テーマ：表現技法とアプリケーション Office 系ソフト（SmartArt や Powerpoint 等）による作成法
第5回	テーマ：画像の加工（1） 画像特性および画像処理ソフトとその基本操作
第6回	テーマ：画像の加工（2） 画像処理ソフトによる加工
第7回	テーマ：動画の作成 動画特性およびソフトを利用した実践
第8回	テーマ：プレゼン資料作成（1）オンデマンドの予定 与えられたテーマに添った資料（スライド、ポスター等）のデザイン
第9回	テーマ：中間報告 と相互評価 これまでのまとめを行う
第10回	テーマ：ネットワークを活用した情報発信 ネットワーク、Web の基礎的知識の理解（SNS 含む）
第11回	テーマ：ネットワークを活用した情報発信 Web ページの作成
第12回	テーマ：ネットワークを活用した情報発信 動画配信実践
第13回	テーマ：プレゼン資料作成（2） Web ページ、動画を含むプレゼン資料の作成
第14回	テーマ：プレゼン資料作成（3） Web ページ、動画を含むプレゼン資料の作成
第15回	テーマ：最終成果確認
テキスト	授業中、適宜資料を配布します。
参考図書・教材 ／データベース・ 雑誌等の 紹介	授業中に適宜紹介
課題に対するフィ	オンラインツールを活用してフィードバックします。

ードバックの方法	
学生へのメッセージ・コメント	<p>予備知識として以下が必要です。</p> <ul style="list-style-type: none">・基本的なコンピュータの操作（キーボードによる文字入力、マウス操作など）・オフィス系ソフト（Excel、PowerPoint）の基本的な操作・Web ブラウザの基本的な操作 <p>本授業では、情報を相手に適切に伝えるための知識および表現するための技能と、表現する方法について学びます。授業内で終わらない課題もあります。そのため、授業時間外においても、自宅や大学の演習室等を利用して予習や復習を行ってください。</p> <p>また、グループワークでは、他の受講生とのコミュニケーションや積極的な授業参加が求められます。</p>